

明倫学園校章デザインの選考結果について

校章デザインの選考結果について

I. 校章デザイン選考に至るまでの経過

1. 校章デザインの募集状況及び応募結果

(1) 募集状況

①募集期間 令和元年6月21日(金)～7月31日(水) 41日間

②周知方法

○募集要項・応募用紙1,300部を市役所・明倫学区3校・市内各施設6カ所にて配付・設置

○募集期間に合わせて市公式HP・市公式SNS・市報へ掲載

○募集内容を公募サイト『公募サイトオンライン』へ掲載

(2) 応募結果

①応募者数：208名

○男性94名・女性114名(沼田小9名・北辰小13名・明倫中170名・一般16名)

②応募作品数：229作品

2. 『明倫学園』校章選定委員会の設置と事前選考

(1) 校章選定委員の選任

①委員長 原 高 史 氏(東北芸術工科大学デザイン工学部グラフィックデザイン学科長・教授)

②委員 上 村 隆 士 氏(元菟野中学校長)

〃 内 藤 秀 一 氏(グラッシーデザイン代表)

③任期：令和元年9月1日～『明倫学園』校章決定まで

(2) 校章デザイン事前選考

①期間 令和元年9月3日(火)～9月13日(金)

②内容 各選定委員より応募作品全229作品の中から、最終選考作品候補として5～7作品程度を選考。

II. 校章選定委員会による選考

1. 『明倫学園』校章選定委員会の開催

(1) 期 日：令和元年10月3日(木) 13:30～ 新庄市役所3階 第1会議室

(2) 内 容：校章デザインの最終選考及び各賞の選考

2. 校章選考の基本的方向性(視点)及び選考作品数

(1) 校章選考の基本的方向性(視点)

①校章を選考していくための方向性(視点)について、募集要項にある「『明倫学園にふさわしい校章デザイン』とは、具体的にどういう視点が必要なのか。」ということについて整理・検討を行い、次の3つ方向性を共通視点としていくこととした。

○明倫学区内の小学校2校と中学校1校の計3校が統合して設置される施設一体型の義務教育学校であり、学区内において唯一の学校となるという視点

○各校の伝統を踏まえながら、『明倫学園』という新しい学校づくりに取り組んでいくという視点

○1年生(小学校1年生7歳)から9年生(中学校3年生15歳)までの幅広い年代が使用する校章として全学年になじむという視点

②さらに、この3つの方向性を踏まえた上で、各選定委員それぞれの視点を加えることによって、『明倫学園』によりふさわしい校章デザインの選考の方向性を確立していくこととした。

(2) 選考作品数

選定委員会において選考する各賞を次のとおりとした。

最優秀賞（採用作品）	1点
優秀賞	3点
奨励賞	1点
計	5点

2. 各選定委員の事前選考による推薦作品

(1) 事前選考作品：14点

(2) 事前選考時の各選考委員の視点

○義務教育学校という新しい教育の確立の観点から、あまり出来上がっていないものを形にしていればと考える。子供達の応募が多いので子供の作品を選考する場合、どのように手を加え完成させていくかを共有してから選考審査に入りたい。

○明倫学区における、藩政時代から現代までの、古くから続く伝統的様式美がある。

○様々な印刷物等に使用したり、掲示したりするので、モノクロでも図柄が分かりやすい。

○明倫地区の子供の独特の繊細さや、鋭敏な感覚、さらに豪胆さが感じられる。

○7歳から15歳までの中間にあたる小4～5年生児童でも、デザインの意味が理解できる。

○3校（沼田小、北辰小、明倫中）が統合して誕生した学園を表している。

○明倫学園としての理念や特色を表している。

○あらゆる環境下で校章として識別できる。

3. 最終選考作品候補の整理

(1) 最終選考における方向性（視点）

校章選考の3つの基本的方向性（視点）と事前選考の際の各選定委員の視点を踏まえた上で、選定委員会としての最終選考の方向性（視点）を次のとおりとすることとした。

○子どもたちの思いや夢
○未完の原石
○みんなで一緒に創り上げる新しい学園

(2) 選考作品の整理

選定委員による協議をさらに重ねながら、最終選考作品を整理し、次の5作品を最終選考作品とすることとした。

作品番号：033 / 050 / 111 / 154 / 204

Ⅲ. 校章デザインの選考結果

最終選考作品5作品の中から協議の上、各賞の選考を行い次のとおりに決定することとした。

1. 最優秀賞（採用作品）：1作品 作品番号：204

◆選考理由

- 協議を重ね選考の方向性の一致を見た中で、最終選考作品に選考された作品中、選定委員3名全員が推薦した作品である。
- 星が北辰小、若葉（オモダカ）が沼田小、グリーンのサークルが明倫中と、3校の校章すべての要素が取り入れられていることで、3校に携わってきた人々の思いが凝縮されている作品。デザイン的に見ても非常にまとまりがあり、かつ、高級感も感じられる。
- 例えば「明」の字体や星の配置などの細かい部分については、デザイナーの支援を受けて完成度を高めていく必要があり、まさに「未完の原石」。そういったプロセスも選定委員会の方向性と一致。

2. 優良賞：3作品

(1) 作品番号：033 (2) 作品番号：111 (3) 作品番号：154

◆選考理由

- 「きらきらながっこう」という思いが、ストレートに表現されている。
(033)
- 線で構成されている部分が多いため一見弱い感じもするが、人と人の絆、仲間とのつながりというものが感じられる。
(111)
- シンプル、かつ大胆で、全体的にしっかりした重厚感が印象的である。
(154)

3. 奨励賞：1作品 作品番号：050

◆選考理由

- 3校の校章のモチーフを取り入れ、温和で柔らかさのある作品。デザイナー等の協力によって発展の可能性が感じられる。

IV. その他

1. 最優秀賞作品（採用作品）の補色・調整などの検討

選定委員会では、制作者の思いがより表現されるよう採用作品の完成度を高めるための補正・調整をデザイナー等の支援を仰ぎながら行っていくこととした。

また、補正・調整の作業は、選定委員会における協議内容と選考の方向性、そして採用作品を選考するに至ったプロセスをすべて理解している方に依頼するのが最も適切であるとの考えが選定委員の一致した意見であった。さらに、選考委員会が「校章制作に関わる人々が結果として新庄市民である。」ということも、これから明倫学園で学校生活を送ることとなる子どもたちにとっては非常に意義があるとの考えから、選定委員の内藤委員に採用作品の補正・調整を依頼することとした。

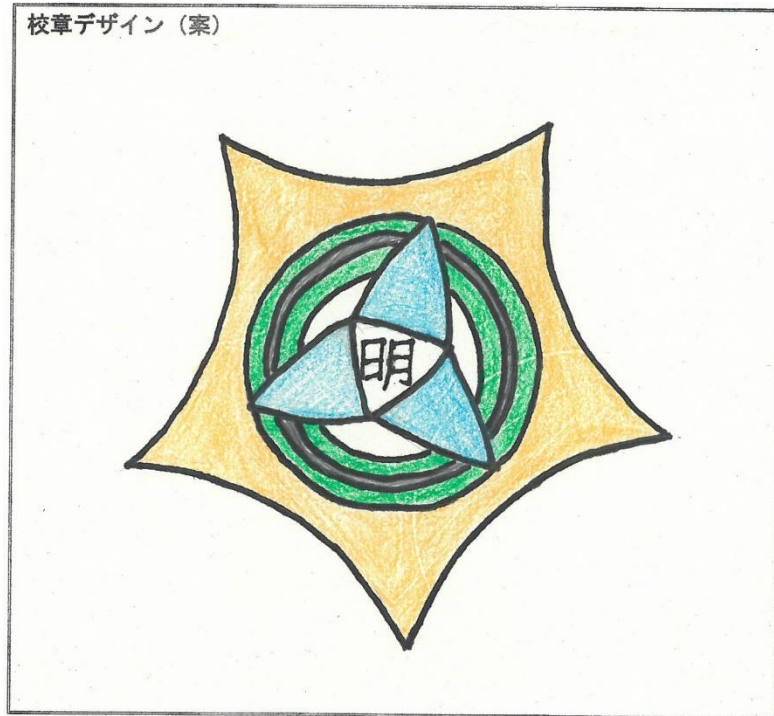
2. 策定委員会での決定と今後の予定

この度の選定委員会におけるこの選考結果は、後日開催された第11回校名・校章・校歌・制服等検討部会を経て第15回策定委員会に報告し、承認を得て正式決定された。なお、この決定を受けて採用作品の補正・調整の作業を行っていくこととなる。

最優秀賞（採用作品）

作品番号：204

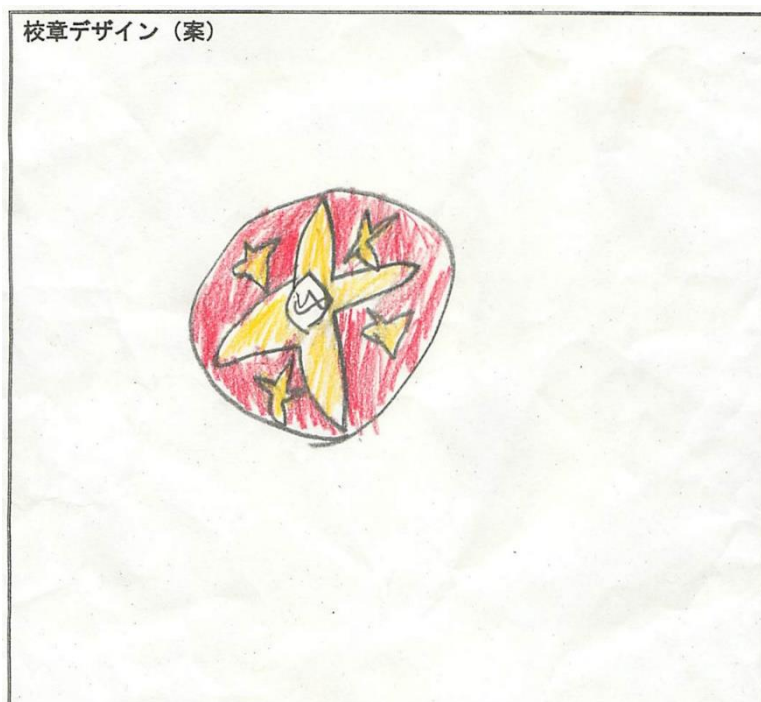
たけ だ か ほ
武 田 香 穂 さん 明倫中3年



優秀賞（1）

作品番号：033

こ ばやし ゆ の
小 林 結 乃 さん 沼田小2年

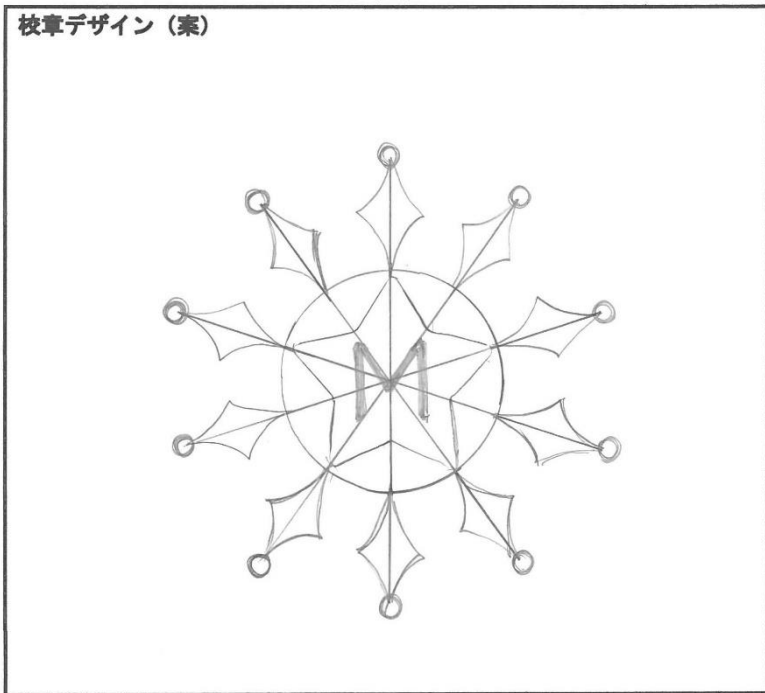


優秀賞 (2)

作品番号 : 1 1 1

わた なべ ね ね さん 明倫中 1 年
渡 邊 寧 音 さん

校章デザイン (案)

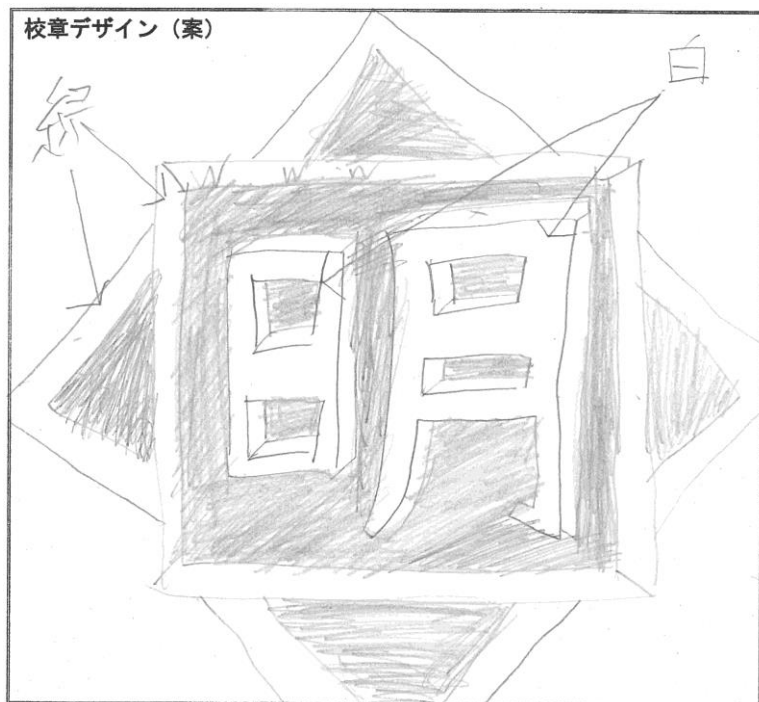


優秀賞 (3)

作品番号 : 1 5 4

すず き りょう せい さん 明倫中 2 年
鈴 木 良 生 さん

校章デザイン (案)



奨励賞

作品番号：154

かき ざき
柿 崎

あ こ
愛 湖 さん

明倫中1年

